

# バングラデシュ

## 教育関連のスタートアップ

■ 調査日：2016年 5月

■ 場所：ダッカ

### ■ バングラデシュ人民共和国 People's Republic of Bangladesh

#### — 基礎データ —

- 面積：14万7,570平方キロメートル
- 人口：1億6,175万人（2016/17年度 バングラデシュ統計局）
- 首都：ダッカ／人口約1,204万人（2011年 統計局）
- 名目GDP総額：2,279億ドル（2016年 推定値）
- 1人当たりの名目GDP：1,411ドル（2016年 推定値）
- 実質GDP成長率：6.92%（2016年 推定値）
- 為替レート：1ドル≒ 78.47 バングラデシュ タカ（2016年 期中平均値、本文中は「タカ」と表記）



出所：JETROホームページ 国・地域別に見る「アジア バングラデシュ概況（2017年6月更新）」

### 教育分野の概要

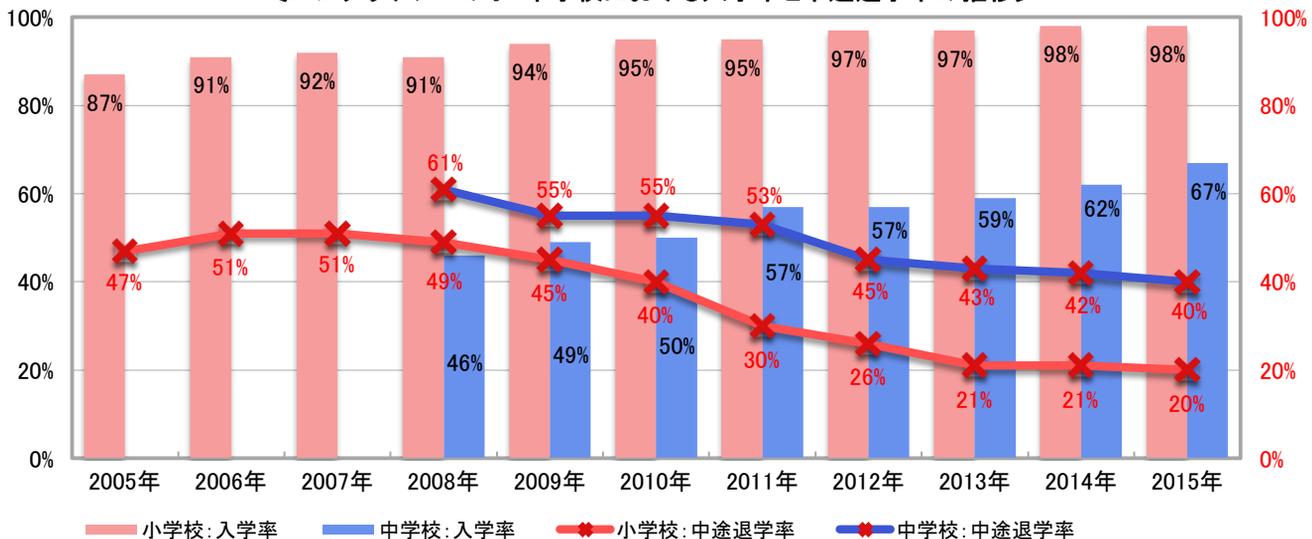
バングラデシュの教育制度は、約3,000万人以上の生徒に対応する大規模なものである。複数の初等教育提供者（政府、民間組織、NGOおよび複数の機関が管理する組織）と、10の中等教育審議委員会が存在する。

教育水準は、特に小学校において普及率と入学率が向上している。留年率および中途退学率は減少しているものの、依然として高い数字を示している（下グラフ参照）。

教育環境は改善されてきているものの、他国と比較した場合、政府からの財政貢献は高くない。政府は小学生1人あたり約120ドルを費やしているが、これは南アジア諸国の平均額の3分の1に過ぎない。また、国の教育予算の大部分は、教員への給与など非開発目的に使用されているため、教育の質を向上させるための投資に回す予算は限られている。

バングラデシュの教育制度はまだ不十分であり、民間セクターや開発セクターがそのギャップを埋めようと努力してきた。また近年では、ダッカ市内のEdtech（Education + Technology）関連のスタートアップの数も増えてきている。これらのスタートアップの大部分は、学校とその経営者をターゲットとしている。また、オンライン学習のほか、資格取得や試験対策のためのオンライン指導プラットフォームを提供するスタートアップも存在する。

【バングラデシュの小・中学校における入学率と中途退学率の推移】



出所：BANBEIS（バングラデシュ教育情報統計局）

## 教育関連企業の紹介

### 【企業名】 REPTO-Education Centre

● REPTO-Education Centre (以下REPTO) は、職業スキル開発に重点を置いたオンライン教育コースのマーケットプレイスである。バングラデシュ国内の創造力を持った人々に、質が高く、手頃な学費で利用できるオンライン学習コースを提供することで、バングラデシュ人にとって教育をより身近なものにすることを目的としている。

#### ■ サービスの概要

REPTOのプラットフォームを使用することで、最先端の学習コース作成ツールを使いコースを作成し、オンラインで販売することができる。また、スキルや知識を伸ばすために、自分の学びたいことをいつでも学べるオープンプラットフォームでもある。

REPTOの検証チームが、事前に各コースのデザインと内容の検証を行なうことで、コンテンツの質の向上に力を注いでいる。REPTOには多くのコースがあり、有料・無料のものがある。

#### ■ コース受講者の利用フロー



#### ● コースのテーマ

スタートアップ、フリーランス、コンピューター科学、ソフトウェア開発、グラフィックデザイン、ビジネス、マーケティング、コミュニケーションに関するコースを提供中。

現在、100以上のコースが開講中で、48人のプロのインストラクターが所属している。

#### ■ 起業の経緯

REPTOの設立者でもあるCEOのIstiyak Sheyam氏は、かつて毎日13時間から14時間もかけて難しい数学の問題を解いていたという。SSC試験\*1に合格したSheyam氏は、ブロードバンドインターネット接続環境を得た後、オンライン教育の力に魅了された。MITやハーバード大学といった名門大学が開講する、コンピューター科学、データ科学、人工知能、スタートアップなどに関するコースを自宅でオンラインによっていくつも修了した。2013年からSheyam氏は、ドイツのeラーニング・プラットフォームであるiversityで働き始め、その後、udemy(国際的なオンラインコース市場)で、アルゴリズム作成テクニックに関する独自のコースを制作。Sheyam氏のコースには、短期間のうちに3,000人以上の生徒が集まり、かなりの収入が得られた。その一方でSheyam氏は、自分の大学や従来の教育カリキュラムに対して不満を抱くようになる。世界ではAIやビッグデータの活用が報道されている中、自分の大学の教育レベルはMicrosoft XP上でNotepad++を開く方法に関する試験を出題するようなレベルであったからである。そのためSheyam氏は、スキルに基づいた、実践的で最新の教育コースを作り出したいと決心した。



REPTO・CEOによるプレゼンテーション (GP accelerator)

\*1:SSC・・・The Secondary School Certificate(中期中等教育修了認定試験)の略。10学年終了後に実施される。SSCに合格することが2年間の後期中等教育に進むための要件となっている。

#### ■ 資金源

REPTOでは、GrameenphoneやSD Asiaから資金援助を受けている。GP Acceleratorではトップ5スタートアップの1つに選ばれた。SD Asiaからは、創業資金などの支援を受けている。

## 教育関連企業の紹介

〔企業名〕 REPTO-Education Centre ーつづきー

## ■ ユニークな点

- REPTOのコースの学費は最高でも700タカとなっており、スキル訓練所の学費と比較すると30分の1～50分の1である。
- 質を重視している。REPTOが提供するオンラインコースは、REPTOの検証チームがデザインおよび内容について検証を行なっている。
- どこでも学習できる。生徒はノートPCやモバイル機器からアクセス可能。特に女性の場合、親が娘を学校に通わせることを不安に思ったり、送迎をする必要がある等安全面で懸念がある。しかし、オンライン学習であれば自宅で受講できるので、親の不安も軽減できる。
- オフラインでもオンラインでもコースを受講できる。
- ウェブサイトでは、バングラデシュでもトップクラスに入る100以上のコースが紹介されている。
- 修了証が発行される。どのコースでもREPTOのコースを修了した者には、新たに習得したスキルが記載された正式な修了証がREPTOから授与される。この正式な修了証について、職務経歴書や履歴書に記入することができる。



オフィスの様子

## ■ 競合他社

今のところバングラデシュ国内には競合他社はいないと考えているが、Youtube、International Free Course Platformsや、教育関連DVD販売業界が間接的な競争相手だといえる。

## ■ 今後の事業計画

- REPTOは、“REPTO School Board”という、クラウドベースの学校経営ソリューションを開発したいと考えている。
- “REPTO Test”を導入し、大学入試、BCS、SAT、IELTSの試験対策用コンテンツを制作予定。
- “REPTO MOOC”を導入し、学術的なMOOC(大規模公開オンライン講座)コースを通じて、生徒が大学修了証を取得できるようにしたいと考えている。
- REPTOでは、“REPTO for Work”に基づいた企業研修ソリューションに取り組む予定である。

〔企業名〕 ClassTune

- ClassTuneのビジョンは、デジタル化によって学校経営が円滑化することで、バングラデシュをはじめ世界中の学校を支援することである。ClassTuneは、生徒、親、教師および学校経営者のための、出欠、宿題、シラバス、成績などの学校活動を確認・管理できる学校経営ソフトウェア・プラットフォームを運営している。また、単一のプラットフォームで、すべての関係者がリアルタイムで情報を共有、記録するとともに、互いに連絡を取り合うことができる。

## ■ サービスの概要

ClassTuneは、学校活動に関する情報の共有と更新を行なう機能を搭載したプラットフォームである。

〔プラットフォームの内容〕

## ● 宿題

教師はクラス全体、または個々の生徒に対して宿題を出すことができる。生徒はマイページで出された宿題を確認しリマインダーをセット、宿題が完了した後、終了マークにチェックを入れる。また親は、子供に出された宿題を確認し、提出状況を追跡することができる。



教育関連の情報通信技術(ICT) 見本市・ExCel Londonにおける、ClassTuneのブース(サービス紹介)。

## 教育関連企業の紹介

〔企業名〕 **ClassTune** ーつづきー

### ■ サービスの概要

ClassTuneは、学校活動に関する情報の共有と更新を行なう機能を搭載したプラットフォームである。

〔プラットフォームの内容〕 ーつづきー

#### ● スケジュール管理

教師と経営者は、必要に応じてスケジュールを変更し、すぐに通知することができる。

#### ● 年間予定

学校の経営者は、学年度の初めに年間予定を投稿し、必要に応じて柔軟に変更することができる。親が家族の休日を計画するのにも役立つ。

#### ● 成績表

教師はクラスで実施したテスト、定期試験、研究課題の成績表をアップロードし、生徒はオンラインで見ることができる。親は成績表を確認したことを、学校に通知できる。

#### ● 欠席届

親は生徒の欠席届を提出し、承認時には通知を受け取る。教師は自分自身の欠勤届を出すこともできる。

#### ● 学習計画

教師は、1週間、1ヵ月、1年の学習計画を定期的にアップロードすることができる。生徒や親はそれを確認し予定を立てることができる。

#### ● 教師の日課

教師は生徒の毎日の予定を確認し、それに従って計画を立てることができる。

#### ● 面談の要請

学校経営者および教師は、親との面談を設定し、通知することができる。親から面談をリクエストすることも可能。

#### ● 通学

通学する生徒の送り迎えの時間をオンラインでチェックできる。運行スケジュールの変更があった場合でも、数分で親に通知できる。

#### ● 行事

行事ページでは、学校で行なわれる行事の日時と場所を確認できる。また、必要に応じてリマインダーも送信する。

#### ● シラバス

学校は毎年シラバスを更新する。生徒、親、教師は最新のシラバスをアプリを通じて参照することができる。

#### ● 各書類書式

学校で使用する各種申請書はすべてモバイル機器やウェブ上で入手することができる。生徒は申請書に記入し、オンラインで提出できる。こうすることで、受付が混み合うことがなくなり、学校経営の効率上がることにつながる。

#### ● 学費

親は、クレジットカードやモバイル・マネーを利用して、オンライン上で学費を納めることができる。学校側は支払いの確認や帳簿管理ができる。



“ClassTune”宿題のページ。生徒に出された宿題と提出期限、進捗状況がわかる。



ClassTuneの広告

## 教育関連企業の紹介

〔企業名〕 **ClassTune** —つづき—

### ■ 起業の経緯

ClassTuneでは、常にバングラデシュの学校へのアクセス方法やその機会を創出するために様々なアイデアを発表している。ClassTuneの設立者は、バングラデシュの学校が昨今のデジタル時代から大きく取り残されており、生徒、親、教師の間での意思の疎通が欠けていることに気が付いた。そこで、3者間の情報へのアクセスを可能にし、コミュニティを共有することで、生徒、親、教師が参加できるというビジョンに基づき、2016年1月にClassTuneを設立した。

### ■ 資金源

設立者の自己資金。

### ■ ユニークな点

- 学校経営者は、このソフトウェアを使用して、教師や学校の業績を確認できる。
- 学校に関わる三者(生徒、親、教師)は、インターネットに接続できるモバイル機器等を通じてこのシステムを利用し容易に意思疎通を図り、知識、行動計画、TO-DOの共有、フォローアップを、以前よりも迅速に、どこにいても行なうことができる。
- どんなデバイスからでも容易に参加できる。

### ■ 競合他社

国内では、SMSインテグレーターや学校経営ソフトウェア(ERPタイプ)が競合している。

### ■ 今後の事業計画

- 大学の学習管理システムである新製品“CourseMate”の開発を計画している。
- 現在ClassTuneに登録された学校は、バングラデシュ国内で10校だが、これをさらに拡大させていきたいと考えている。

〔企業名〕 **CodersTrust**

- CodersTrustはデンマークに拠点を置き、20カ国に展開しているEdTech関連のスタートアップであり、2014年にバングラデシュで事業を開始した。CodersTrustは、プログラミングやコーディングのスキルを教え、oDeskなどオンラインを活用したアウトソーシング職場サイトで働くことができる、IT分野のフリーランスを育成している。また、コーディングを学ぶ生徒に対して学費をローンとして貸与し、生徒はオンラインでのフリーランスの仕事に就くことができた時に、学費を返済することもできる。

### ■ ビジネスモデルの概要

#### ● “Learn and Earn(学んで稼ぐ)”プラットフォーム

生徒は、5~6カ月のコースを受講する際、学費の支払いについて2種類の方法をから選ぶことができる。

- ① 月額45ドル支払う
- ② 受講料ローンを組む...コースを修了し、フリーランスとして仕事に就いた3年間は、得た各報酬の10%をCoders Trustに収め、ローンの返済に充てる。



ClassTuneの教室(ダッカ市内)

コーディングやプログラミングのスキルを教えるだけでなく、オンラインの職場で仕事を得るための支援や、仕事上での技術面や精神面のサポートを行なっている。

〔企業名〕 **CodersTrust** —つづき—

### ■ ビジネスモデルの概要 —つづき—

#### ● プログラミングやコーディングのトレーニング

オンラインやオフラインのコースを開講して、コンピューターのコーディングを教える。コースは基本的に5～6か月で修了する。これらのコースは、オンラインでフリーランスの仕事に就けるように、生徒のコンピューターに関するスキルを伸ばすことに重点を置いている。質問やヘルプが必要な場合には、メンターがマンツーマンのサポートを行なう。オンラインのビデオによるコースを視聴することもできる。また、世界に広がるCoders Trustのネットワークを通じて、各国の生徒同士がコミュニケーションをとることも可能であり、特定のテーマについて生徒間で教え合うこともできる。



世界中で学ぶ生徒同士が会話できる。

#### ● オンラインプロフィール作成のサポート

CodersTrustは、スキルやプロジェクトの経験について記載する、オンラインプロフィールの作成をサポートしている。また、面接を通じて、プロジェクトに申し込む方法に関してもサポートも行なっている。キャリアアドバイザーは常に生徒が、より高い報酬が得られるように支援を行ない、就職後もサービスを提供する。生徒は、就職先で問題に直面した場合、トレーニング修了後もメンターに問い合わせることができる。

#### ● フリーランス求人ポータル・プラットフォーム

CodersTrustは、フリーランスの求人プラットフォームを開設している。生徒はこのプラットフォームを通じて、求人に応募が可能(毎週2万件以上、新規のフリーランス職が掲載される)。生徒は、さまざまな情報が1か所にまとめられたフリーランス求人市場ポータルから、すぐに職を探せるようになっている。生徒は1か月に30件まで、求人に応募することができる。

### ■ バングラデシュ事業実施の経緯

バングラデシュには毎年コンピューター関連学科の卒業生は2,000人以上におよぶと言われている。しかしながら、国内のIT関連の就職口が少ないため、実際にIT関連の仕事就ける人は卒業生の4分の1しかないという問題がある。また、金銭的な理由で義務教育を受けられず企業に就職できない若者が多いという問題もある。CodersTrustの設立者は、バングラデシュのこうした問題を解決するために、バングラデシュでの事業実施を決定した。どんな環境に置かれた人でもスキルを磨き、学費を貸与することで、より多くの人が収入の多い職に就くことができると考えている。また、技術的なスキルを提供するだけでなく、コミュニケーションスキルや自己紹介のための履歴書作成スキルを身に付けることも、ElanceやoDeskなどで職を得るために重要な点である。バングラデシュの事業は成長を続け、毎月平均100～120人の生徒が入学している。そして毎日、アクティブユーザー数や、生徒とメンターとの対話件数が増加している。

### ■ 資金源

当初はDANIDA\*2から助成金を受けていた。その後、世界銀行やUNDP(国連開発計画)などの国際的な組織から投資を受けるようになった。CodersTrustでは生徒に対して、ノートPCの購入、インターネットへのアクセスなど、具体的なプロジェクトを目的とした資金援助や投資を行なっている。また、日本のベンチャー・キャピタルをはじめとする数カ国の個人投資家からの支援も受けている。

\*2: DANIDA・・・Danish International Development Assistance デンマーク政府による国際開発援助活動の呼称。

## 教育関連企業の紹介

〔企業名〕 **CodersTrust** —つづき—

### ■ ユニークな点

- 教えることから就職するまで、総合的なサービスを提供している。通常の個人指導や職業訓練学校と同じように、コーディングを教えているだけではない。履歴書を作成し、面接を受け、職に就くまでの支援を行なうことで、フリーランスとしての就職活動のサポートを行なっている。また就職後も生徒は、問題に直面した場合に、サポートを受けることができる。
- 世界で通用する学習コンテンツを提供している。学習コンテンツは、国内外から集めたものである。CodersTrustではコンテンツ作成会社と交渉し、多くの生徒にコンテンツを提供することを条件に、これらのコンテンツを安価に入手している。
- データ分析を行っている。生徒のデータを集めて、成績優秀な生徒がより報酬の多いフリーランス職を得るまでの過程や、中途退学した理由等を分析している。こうした分析結果を活動に反映することにより、中途退学者の数は毎年減少し、報酬の多い仕事に就く生徒の数が増えてきている。また、Facebookに「成功事例(サクセスストーリー)共有ページ」を作り、卒業生にCodersTrustでの経験を書いてもらっている。このサクセスストーリーは、生徒たちのモチベーションを高めることにつながっている。

### ■ 競合他社

今のところ競合他社の存在はないと思われる。CodersTrustは、人々にプログラミングやコーディングを教え、ビジネスの機会を提供することで世の中の役に立ちたいと考えていることから、同じビジョンを持つ現地の企業との提携を希望しているが、競合とは考えていない。

### ■ 今後の計画

#### ● 他国への展開

CodersTrustではこのプロジェクトを他国にも拡大し、生徒数を増やしたいというビジョンを持っている。そのため、地元の大学やIT研修会社を対象としたフランチャイズ制度の導入や提携により、そのコミュニティ内で生徒が“Learn and Earn(学んで稼ぐ)”プラットフォームを使用できるようにする戦略を立てている。

#### ● サポート体制の強化

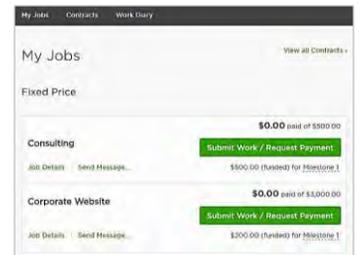
ライブ講義や年中無休のサポート(現地事務所の受付時間は7時間だが、生徒は他の国の事務所で24時間体制のサポートを受けられる)を提供する世界規模でのオンライン・プラットフォームの運営に向けた準備段階にある。

#### ● 求人プラットフォームの拡大

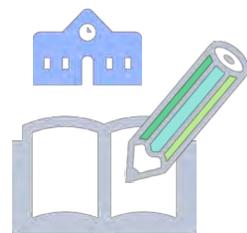
生徒数が増加するにつれて、提供する雇用機会も多様化しているため、求人ポータルを増設する必要がある。CodersTrustでは、オンライン広告など特定の分野に対し、自社プラットフォームに求人情報を掲載しないか勧誘している。

#### ● 資金サポートの充実

現在、開発団体や基金と協力した学費ローンの準備中である。世界全体の生徒を対象とする資金援助サービスを、現地の資金援助パートナーと協力して行なうというビジョンがある。



仕事を得ることができた人の紹介ページ(仕事の報酬額はさまざま)。「毎日、夢がかなっていきます。必要なのは努力を続け、自分を信じることなのです。」といったメッセージやサクセスストーリーが公開されている。



# JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。